

## 令和4年度 第2回 岡山県事業評価監視委員会 議事要旨

### ○開催概要

- 1 日 時 令和4年9月30日（金）13:30～15:30
- 2 場 所 アークホテル岡山「牡丹の間」
- 3 出席者 岡山県事業評価監視委員会 委員 7名  
土木部 技術総括監  
農林水産部 参事（農林技術）  
事務局（技術管理課、農政企画課）  
道路建設課、道路整備課、河川課、防災砂防課、  
耕地課、農村振興課、治山課

### ○議事概要

- 1 開 会
- 2 挨 拶（土木部 技術総括監）
- 3 再 評 価

（事務局）	再評価審議対象事業 （第1回事業評価監視委員会で2件を抽出） （土木部関係2件）  「事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業」 ① 県道 総社足守線 交通安全事業  「再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業」 ② 一級河川 旭川（小倉工区） 河川改修事業
（道路整備課）	① 県道 総社足守線 交通安全事業  ・本路線は、国道180号との交差点を起点として国道429号に至る路線で、沿線には阿曾小学校、阿曾幼稚園があり、地域の生活基盤となっている道路である。 ・現道には歩道が整備されておらず、児童の通学には非常に危険であるため、一部の児童は生活道路内を迂回して通学

	<p>している状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の通学路である生活道路は幅員が狭く、児童にとって安全とは言えない状況から、歩道の設置が強く求められている。</li> <li>・事業期間について、相続の問題や設計内容への意見から用地交渉が難航していたため、終期を令和10年に延長するものである。</li> <li>・B/Cは事前評価時が1.82、今回の再評価では1.27となっている。</li> <li>・通学路の安全性を向上させる目的を達成するために本事業は必要且つ重要であり、総社市や学校関係者から早期完成を求められていることから、現計画を継続する方針である。</li> </ul>
( 委 員 )	<p>(質疑応答)</p> <p>現在通学路として使っている道路について、総社足守線に歩道が整備された後も通学路として利用されるのか。</p>
(道路整備課)	<p>現在迂回している児童については、今回整備している総社足守線を通っていただくようになるが、現在使っている道の方が近い児童は、そちらを通って通学するようになる。</p>
( 委 員 )	<p>歩車道境界ブロックや防護柵は設置するのか。</p>
(道路整備課)	<p>完了後、警察と現地立会等をして、危険な箇所については防護柵等を設置することとなるかもしれないが、現状は歩車道境界ブロックのみを設置することとしている。</p>
( 委 員 )	<p>この道の制限速度は。</p> <p>また、交通事故減少便益が事前評価時点と比べて大きく変わっている理由は。</p>
(道路整備課)	<p>制限速度について、現状は40km/hとなっている。</p> <p>交通事故減少便益について、直近3年間の人身事故件数を基に算出することとなっており、事前評価時点が9件だったものが今回2件であったため、整備による便益が減少した。</p>

<p>( 委 員 )</p>	<p>事業期間延長の理由は用地交渉の難航であるようだが、現時点の状況はどうか。</p>
<p>(道路整備課)</p>	<p>令和4年8月末時点で、面積ベースで67.9%、地権者数ベースで82.8%の用地買収が完了している。現在契約手続き中の土地を含めると面積ベースで86.4%、地権者数ベースで約90%の用地買収が完了している。</p>
<p>( 委 員 )</p>	<p>用地買収が進まずに、再度工期が延長になるとB/Cが1を切ってしまう可能性があるが、どう考えているのか。</p>
<p>(道路整備課)</p>	<p>令和7年度までには用地買収が完了できると考えており、さらなる延長は今のところ考えていない。</p>
<p>( 委 員 )</p>	<p>横断歩道や信号はどうなるのか。</p>
<p>(道路整備課)</p>	<p>現状横断歩道がある箇所については設置することとなり、信号については警察と調整しながら検討することとなる。</p>
<p>( 河 川 課 )</p>	<p>② 一級河川 旭川（小倉工区） 河川改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川小倉工区は旧建部町小倉地内から旧御津町新庄地内まで2,400mを対象に平成15年度から整備を進めているが、小倉工区周辺は、平成10年10月の台風10号による洪水により浸水被害が生じており、同じ程度の洪水に対し、浸水被害の防止を目的として事業を進めている。</li> <li>・一般的に河川事業は整備に長期間かかることから、早期に事業効果を発現するため、段階的に整備を進めているが、小倉工区では、計画延長2,400mのうち、下流460m、中流620mは堤防が完成しており、上流の1,100mについても暫定形で概成している。</li> <li>・平成30年7月豪雨を受け、河川内の土砂の堆積状況を調査したところ、当初の想定を上回る量の土砂が確認されたことから、事業費を3億円増加し、完了年度を令和8年度に延長したいと考えている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、令和3年度時点での国勢調査など各種統計資料から、国のマニュアルに基づきB/Cを算定したが、小倉工区は事業効果があることが確認できた。</li> <li>・計画延長2,400mのうち、2,180mが暫定または完成形で概成しており、一定の目途が立っていること、地元からの整備要望も強いことを踏まえ、事業の必要性、重要性は変わらないことから、現計画を継続する方針である。</li> </ul>
( 委 員 )	<p>(質疑応答)</p> <p>現在、想定氾濫区域に何件人が住んでいるか、また、将来の人口減少を考慮して数字を算出しているか。</p>
( 河 川 課 )	<p>国勢調査から、小倉工区の戸数は65戸、人口は130名となっており、人口減少についてはこの事業評価の中では考慮していない。</p>
( 委 員 )	<p>将来的に人口がゼロになれば、事業の継続も議論になると思うが、人口減少を考慮しなくて良いことになっているのか。</p>
( 河 川 課 )	<p>今回、人口減少は考慮していないが、事業評価時点での人口でB/Cを算出して、それが1を上回っているかが判断の1つの目安だと考えている。</p>
( 委 員 )	<p>外水氾濫についてはこの事業により対策をすると思うが、内水氾濫についてはこの事業でどう考えているのか。</p>
( 河 川 課 )	<p>内水対策は市町村の役割であり、河川事業は市町村と話をしながら進めている。</p>
( 委 員 )	<p>橋が堤防より低く見えるが、これで良いのか。</p>
( 河 川 課 )	<p>現状橋の方が低くなっているが、橋は岡山市の管理となっているため、具体的な対応を岡山市へ投げかけており、その対応方針に応じて堤防のすりつけ等を検討する予定である。</p>
( 委 員 )	<p>将来的に人口が減少したらどうするのかということについて</p>

<p>( 委 員 )</p> <p>( 河 川 課 )</p>	<p>ては、もしこの事業を中止したらどうということが想定されるのかということの説明してくれた方が良いと思う。</p> <p>堤防と国道 53 号の高さの関係について、どのような考え方で設計しているか。</p> <p>国道 53 号は国管理の国道であり、国道の背後地に家屋等がある場合には堤防の高さを合わせるが、そういった保全対象がない場合は道路管理者の方で考えて調整していくこととなる。</p>
---------------------------------	---

#### 4 事後評価

<p>( 事 務 局 )</p>	<p>事後評価対象事業について、事務局より概要説明し、その中から、次回事業評価監視委員会において審議する事業を抽出</p> <p>令和 4 年度 事後評価対象事業の概要説明 (土木部関係 7 件) 道路改良事業</p> <p>①県道 瀬西大寺線 瀬戸内市邑久町本庄～尻海 工種：バイパス 概要：延長 0.40km 幅員 6.0 (7.5) m 事業期間：4 年延長 (平成 23～令和元年度) 事業費：0.9 億円増額 (全体事業費 2.3 億円)</p> <p>砂防事業</p> <p>②砂防指定地 浦ノ谷川 総社市日羽 工種：砂防堰堤 概要：1 基</p>
------------------	--

	<p>事業期間：変更なし（平成 28～令和 2 年度） 事業費：0.1 億円減額（全体事業費 1.8 億円）</p> <p>③砂防指定地 百まち奥谷 高梁市川上町上大竹 工種：砂防堰堤 概要：1 基 事業期間：変更なし（平成 28～令和 2 年度） 事業費：0.3 億円増額（全体事業費 2.3 億円）</p> <p>④砂防指定地 杉原谷川 新見市菅生 工種：砂防堰堤 概要：1 基 事業期間：1 年延長（平成 24～30 年度） 事業費：0.2 億円増額（全体事業費 2.2 億円）</p> <p>⑤砂防指定地 三信谷川 新見市神郷下神代 工種：砂防堰堤 概要：1 基 事業期間：1 年延長（平成 25～令和元年度） 事業費：0.4 億円増額（全体事業費 2.4 億円）</p> <p>⑥砂防指定地 金政川 久米郡久米南町神目中 工種：砂防堰堤 概要：1 基 事業期間：変更なし（平成 28～令和 2 年度） 事業費：0.1 億円増額（全体事業費 1.7 億円）</p>
--	--

地すべり防止対策事業

⑦地すべり防止区域 志田地区

高梁市川上町下大竹

工種：横ボーリング工、集水井

概要：横ボーリング工 L=4,550m

集水井 N=3 基

事業期間：5年延長（平成23～令和2年度）

事業費：1.1億円増額（全体事業費3.5億円）

（農林水産部関係10件）

かんがい排水事業

⑧藤田錦六区地区

岡山市南区藤田

工種：用水路工、管理棟、水処理施設

概要：用水路工 L=55.88km

管理棟 N=1 棟

水処理施設 N=1 式

事業期間：変更なし（平成10～29年度）

事業費：2.1億円増額（全体事業費43.1億円）

防災事業（河川応急）

⑨尾越四井手地区

玉野市長尾

工種：頭首工

概要：1式

事業期間：変更なし（平成26～29年度）

事業費：0.4億円増額（全体事業費1.7億円）

防災事業（ため池）

⑩長畝池地区

岡山市北区建部町田地子

工種：ため池改修

概要：1箇所

事業期間：3年延長（平成23～29年度）

事業費：0.8億円増額（全体事業費2.4億円）

⑪宮池地区

岡山市東区瀬戸町肩脊

工種：ため池改修

概要：1箇所

事業期間：変更なし（平成25～29年度）

事業費：0.1億円減額（全体事業費2.3億円）

⑫鴨池地区

岡山市東区宝伝

工種：ため池改修

概要：1箇所

事業期間：変更なし（平成26～29年度）

事業費：0.1億円増額（全体事業費1.6億円）

⑬甲骨池地区

倉敷市真備町妹

工種：ため池改修

概要：1箇所

事業期間：変更なし（平成26～29年度）

事業費：0.6億円増額（全体事業費2.4億円）

⑭長田池地区

浅口郡里庄町里見

工種：ため池改修

概要：1箇所

事業期間：変更なし（平成26～29年度）

事業費：変更なし（全体事業費2.0億円）

⑮中ノ池地区

倉敷市西坂

工種：ため池改修

概要：1箇所

事業期間：1年短縮（平成27～29年度）

事業費：変更なし（全体事業費1.6億円）

中山間地域総合整備事業

⑯川上地区

高梁市川上町七地 他

工種：農業用排水、農道整備、農業集落道他

概要：農業用排水 L=1,194m

農道整備 L=647m

農業集落道 L=595m 他

事業期間：変更なし（平成24～29年度）

事業費：0.1億円増額（全体事業費8.5億円）

地すべり防止（山腹）事業

⑰延風（屋名原）地区

真庭市延風

工種：集水井、集排水ホースリング暗渠

概要：集水井工 N=15基

集排水ホースリング暗渠工 L=19,054m

	<p>事業期間：変更なし（平成 14～29 年度） 事業費：変更なし（全体事業費 12 億円）</p> <p>事務局からの概要説明を踏まえ、令和 4 年度事後評価対象事業 17 件から、「事業種別ごと」に事業費、事業期間など変動の大きな事業を対象に、事後評価審議案件 4 件を抽出した。</p> <p>○土木部関係（3 件） 道路改良事業 ① 県道 瀬西大寺線 砂防事業 ⑤ 砂防指定地 三信谷川 地すべり防止対策事業 ⑦ 志田地区</p> <p>○農林水産部関係（1 件） 防災事業（ため池） ⑩ 長畝池地区</p> <p>（質疑応答） （ 委 員 ） 計画や完了年度等の元号表記のあとに西暦を追記すると何年間かがわかりやすいのでそうしてほしい。</p> <p>（ 委 員 ） 砂防事業において、施設整備後に土石流等が発生した事例があるか。</p> <p>（防災砂防課） 整備箇所でそういった事例は近年発生していない。施設がない箇所だが平成 30 年豪雨や令和元年の集中豪雨の際には土石流が発生した。</p>
--	---

## 5 閉会